

第2回 学校施設の再配置検討住民 ワークショップ開催結果

目次

1. 第2回住民ワークショップの開催概要	2
2. 当日の様子・意見紹介	4
3. 参加者アンケート結果	12

1. 第2回住民ワークショップの開催概要

下記概要の通り、第1回住民ワークショップを開催しました

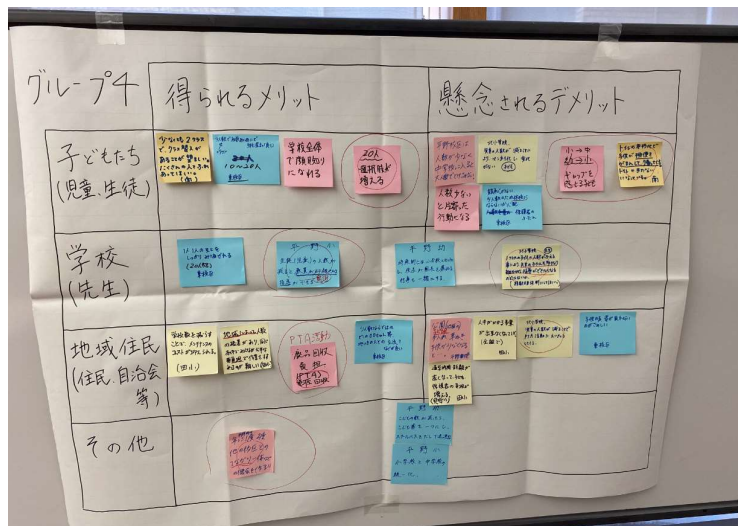
1. 第1回住民ワークショップの開催概要

日 時	2020年9月26日(土)9時30分～11時30分
場 所	青垣生涯学習センター 2F 研修室
対象者	田原本町在住で申込のあった住民
参加人数	25名(4グループ)
目的・ねらい	■ 田原本町における学校施設の再配置検討にあたって、学校再配置について地域や保護者の方々の意見を採用すること ■ 事務局による前回ワークショップの振り返り、外部有識者(恒岡宗司氏)による示唆を踏まえた学校の議論のあり方について共有し、再配置検討に向けた住民の理解醸成を図ること
ワークショップ概要	■ ワークショップでは4つのグループに分かれて「さまざまな立場に立って学校再配置について考える」、「特に重要な意見」についてディスカッションを行いました

2. 当日の様子・意見紹介

4つのグループに分かれてディスカッションと意見発表を行いました

2. 当日の様子



小学校区別では以下のような意見結果傾向が見受けられました

2. 意見紹介（1/7）【学校区別の意見結果傾向】

- ✓【東小学校区】に関する意見数は、他学校区と比較して最も多く、重要意見（優先的に対応すべき事項）としては、子どもたちにとって児童数が増えることのメリット（友達ができやすい）・デメリット（対応できるか心配etc.）双方の意見が挙げられました
- ✓【北小学校区】に関する意見としては、子どもたちにとってのデメリットとして通学時間・校区に関する意見、先生の負担増、PTA活動への影響などが重要意見として挙げられました
- ✓【田原本小学校区】に関する意見としては、子どもたちにおける競争心、良い刺激が得られるなどのメリットが多く挙げられました
- ✓【南小学校区】に関する意見としては、子どもたちにとってのデメリットとして通学距離、施設（特にトイレ）の老朽化に関する意見が重要意見として挙げられました
- ✓【平野小学校区】に関する意見としては、子どもたちにとってのデメリットとして通学距離が遠くなること、地域住民として見守りが大変になることがデメリットとして意見が挙げられました

東小学校区に関する意見数は、他学校区と比較して最も多く、重要意見としては子どもたちにとって児童数が増えることのメリット・デメリット双方の意見が挙げられました

2. 意見紹介（2/7）【東小学校区に係る意見一覧】

校区	立場	分類	意見内容	重要
東校区	子どもたち	メリット	人数が増えるので友達がたくさんできる	
			歩いて通学できる距離に配置されると安心である。	
			人数が増えるため、友達がしやすい。	
			多様な子ども、友人と交流できる	○
			メリット 少人数で和気あいあいでも深まって良い 10～20人	
			子どもたちが色々な子ども達とふれあい、刺激をうけることができる	○
			学童の利用者数が増えてたくさんのお友達とあそべる	○
			クラブの種類が増えて良い	○
			1人ひとりの個性を生かす	
		デメリット	人数が増えるのでクラスがえがあり、対応できるか心配	
			通学距離が長くなる	○
			競争心がない 少人数のため 休校にならないか心配 保護者の負担	
			競争意識が少ない	○
			今よりも通学距離が遠くなって行き帰りの安全が心配	○
			新しくできたお友達の家が遠くなる	○
	学校	メリット	一度に教えられる人数が増え、教えがいがあると思う	
			1人ひとりの生徒をしっかり見てあげられる(20人弱)	
			学校内のそうじがいきとどく?(すみずみまで)	
		デメリット	少ない人数だったので、手厚く色々な勉強指導ができなくなる	
			先生が子ども1人ひとりに目を配ることが難しくなるのでは…	
	地域住民	メリット	学校関係(資源回収など)の手伝いが減る	○
			現校区以外の方との交流が生まれる	
			少人数ならではのどこの○○ちゃん等、地域の人との交流?などが良い	
		デメリット	母校がなくなってしまうので、さみしいと思います	
			子どもとの距離感(地域の子どもから他の子ども) 子どもの声、姿が見れないのがさみしい	
	その他	メリット	保護者の負担(PTA役員など)が減る	○
			役員する階数が減って保護者の負担が減る	○
			児童数が増え、保護者のPTA活動の負担が減るかもしれない	

北小学校区に関する意見としては、デメリットとして通学時間・校区に関する意見、先生の負担増、PTA活動への影響などが重要意見として挙げられました

2. 意見紹介（3/7）【北小学校区に係る意見一覧】

校区	立場	分類	意見内容	重要
北校区	子どもたち	メリット	児童増加 様々な人たちと交流する事が増加し 刺激が増える	
			交流できる友達が増える	
			教員の数が増える(気の合う先生と相談)	
			クラブ活動が充実する(生徒)	
			トラブルがあってもリセットしやすくなる(PTA・生徒)	
			クラスがえができる	
		デメリット	児童減少した場合、部団での登校が不安 安全面 保護者の負担	
			児童の人数が減ることにより、マンネリ化し、変化がない(子ども)	
			通学時間増える 負担増(生徒)	○
			校区の違いのすりあわせ大変(PTA、生徒)	○
	学校	メリット	役割分担(先生の)	○
			行事の人出増	
			先生増加 年齢や経験の差をカバー	
		デメリット	再編内容により負担が増える場合も減る場合も。	
			現在の児童数から増える⇒先生との関わりが変わる？	
			1クラスの子どもの人数が増えることにより、先生の負担も多くなり、細やかな指導ができなくなるのではないかと。(複数担任制にしてほしい(先生)	○
			モンペア増えるか、多くなってまぎれるか気になる	
			行事の規模が大きくなるのでやりづらい	
	地域住民	メリット	地域住民が学校、子どもを守っている	○
		デメリット	送迎時に児童のはあくがしにくくなる地域	
			ボランティア再編 地域	
			子どもの通学が長くなると現在の関わりが減るか	
			児童の人数が減ることでPTA活動にえいきょうしてくる	○
	その他	メリット	役員1人あたりの負担(ノルマ)減(PTA、親が楽だと子ども落ち着く)	
		デメリット	参観時の保護者数制限など(PTA)	

田原本小学校区に関する意見としては、子どもたちにおける競争心が出るメリットが多く挙げられました

2. 意見紹介（4/7）【田原本小学校区に係る意見一覧】

校区	立場	分類	意見内容	重要
田原本校区	子どもたち	メリット	合併することによって競争心が出る。	○
			田小は現状と変化はないと思うが、より一層色々な友達が出来て良い刺激を受けれる	○
			クラス数が増えると先生同士の競争心が出る	○
			子どもは伸び伸びするだろう	○
		デメリット	合併となると子どもたちの通学距離が伸びるのでスクールバスが必要となる	○
			近いけれど、体力的には違いが出てくるだろう	
	学校	メリット	学校の競い合いがある	○
		デメリット	合併すると学童の利用人数が増える	
			(先生)・保護者からの苦情対応が増える ・目が行き届かなくなる	
			生徒数が増えることで先生の負担が増える	
	地域住民	メリット	学校数を減らすことで、メンテナンスのコストが抑えられる	
			地域によって人数の格差があり、同じ条件でみんなが公平な負担で作業をすすめるのが難しい	
			自治会としては、相手がわかるので意見も多く出るだろう	
		デメリット	合併となると、地域住民の見守り隊の人数を増やさないといけない	○
			通学時間・距離が遠くなって、子ども・保護者の負担が増える(見守り)	
			人手がかかる事業が出来なくなっていく(全般で)	
	その他	メリット	人数は減ると、今のままでは校舎が、もったいない	
		デメリット	子どもの人数が減ると外で遊ぶのが危険	

南小学校区に関する意見としては、子どもたちにとってのデメリットとして通学距離、施設（特にトイレ）の老朽化に関する意見が重要意見として挙げられました

2. 意見紹介（5/7）【南小学校区に係る意見一覧】

校区	立場	分類	意見内容	重要
南校区	子どもたち	メリット	子ども達は色んなたちばになって、いろんな体験をしてほしいです。	○
			友達の輪が広がる	
			少なくとも2クラスで、クラス替えがあることが望ましい。たくさんの人とふれあってほしい。	
			様々な子と関わることが出来る	
		デメリット	距離がとおくなったらスクールバスがあつたらいいと思います。	○
			トイレの老朽化で子どもが排便をがまんして帰ってくる。トイレ＝汚い になっている	○
			児童減少に加え学童利用の子ども増え部団での下校で特に低学年の子の安全面が心配	
	学校	メリット	先生方と保護者と話す時間、相談をするきかいがふえてほしいです。	
		デメリット	クラスの中、人数は少なくない方が先生方は子供たちに勉強を教えやすいと思います！！	
			人数が増えると先生の目が行き届きにくくなり、負担も大きくなる	
			教員・人援員の数が多く、教育の責任があいまい	
	地域住民	デメリット	地域の子どもとの関わりの希薄	

平野小学校区に関する意見としては、通学距離が遠くなること、見守りが大変になることがデメリットとして意見が挙げられました

2. 意見紹介（6/7）【平野小学校区に係る意見一覧】

校区	立場	分類	意見内容	重要
平野校区	子どもたち	メリット	いろんな地区のお友達ができる	○
		デメリット	通学バスなどになるとガソリン代など、町のコストがあがってしまう	○
			家が遠い友達と遊びにくくなる	○
			遠い学校だと遅刻や早退の時に行くのが大変	○
			きょうりが遠くなる	
	学校	メリット	生徒（児童）の人数が減ると教員がより細やかな指導ができる 負担	○
		デメリット	家庭訪問の移動距離が大変そう	
			将来的には小学校とセットにし、校長が園長を兼ねる。行事も一緒にする。	
	地域住民	デメリット	公園（地域の）手入れ、草抜き 子供が少なくなると…。	
			いろんな地区の子供が来るので見守り（登下校時）が大変	○
			地域住民との交流が少なくなる	
	その他	メリット	年に一度、二度他の校区とのつながり一体などの機会を作る	○
		デメリット	小学校と中学校の統一化	
			子どもの数が減ったら、こども園を一つにし、スクールバスをだして送迎する	

3. 参加者アンケート結果

参加者アンケート結果の概要は以下の通りです

3. 参加者アンケート結果（1/8） 結果概要

アンケート項目	結果概要
性別・年齢・お住まいの校区をお聞かせください	■ 25名が参加、うち女性が56%、男性が8%（未記入・無効回答36%） ■ 年代では40代が48%、30代が36%、70代以上が8%、60代が4% ■ 校区では全校区から参加（東校区：24%、北校区：16%、田原本校区：20%、南校区：20%、平野校区：16%）
本日のワークショップはいかがでしたでしょうか？	■ 満足度では88%が「楽しめた」「やや楽しめた」と回答
本日のワークショップでは、自分の意見を十分に発言できましたか？	■ 発言・参加度では92%が「発言できた」「おおむね発言できた」と回答
本日のワークショップでの話し合いの時間（長さ）は、いかがでしたか？	■ 会議時間の妥当性では68%の方が「どちらとも言えない（おおむねよい）」と回答
本日のワークショップの中で、気づいたことや感じたことがあればお聞かせください	■ ワークショップでは他校区の参加者の意見を共有することで、各校の現状や問題、さまざまな考え方を知ることができてよかった、という回答が多く挙がりました ■ 再配置に対するさらなる理解、進めるべきであるという前向きな意見回答が散見されました